

太陽光発電、風力発電による発電量を表示”LED発電量表示システム”

コンセプト-CONCEPT-

地球温暖化対策が求められている現状において省エネルギー対策と平行して太陽光発電を始めとする新エネルギーを導入する事が推進され、重要な課題となっています。

民間工場を始め病院、ホテル、学校などでも省エネ法に基づきエネルギーの使用の合理化に努める必要があり、エネルギー消費実績の把握と対策の実践の取り組みが進んでいます。エネルギー管理者だけでなく、すべての従業員の合理化に向けた意識向上が課題といえます。

またNEDOでは新エネルギー導入を推進するため、太陽発電システムの有効性をPRする為の普及活動を今後の課題に挙げており、環境教育的観点等から表示装置の設置が補助対象となっています。

そこで今回、**エネルギー使用の合理化を支援、太陽光発電などの新エネルギー普及を支援する“LED発電量表示システム”**をご提案します。**発電量を見える化**することにより、すべての従業員が消費実績を把握でき、解決すべき問題点に対して共通認識を持つことができます。

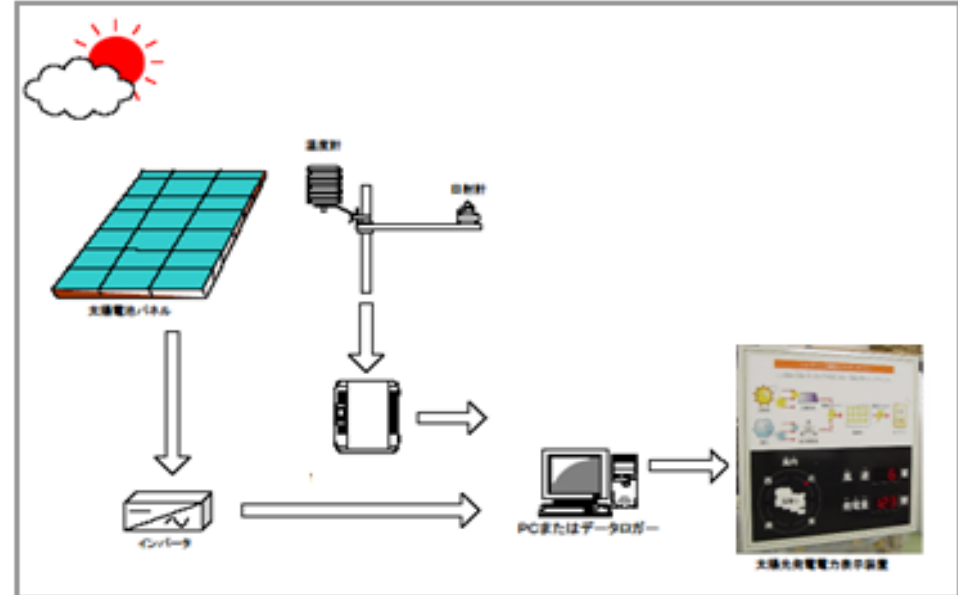
また、導入した太陽光発電システムの有効性を内外へのPRを支援し、CSR活動の一環として活用することができます。

発電量表示板 TK-144M

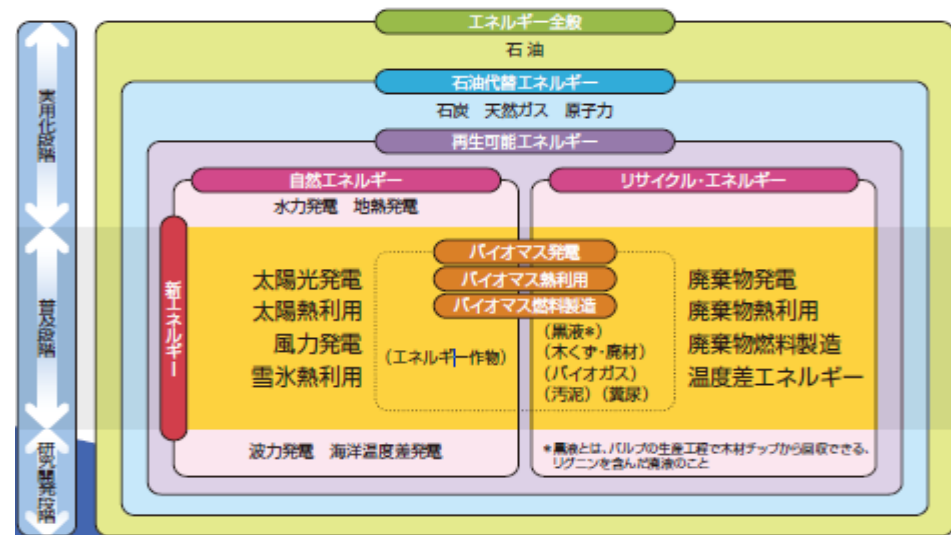


- 視認性
 - ・省電力、高輝度LED対応
- 高機能性
 - ・AD変換器内蔵し複雑なプログラムは一切不要
- 多彩な表示サイズ
 - ・設置スペース、視認距離に併せて文字の大きさを選択可。

システム構成-System configuration-

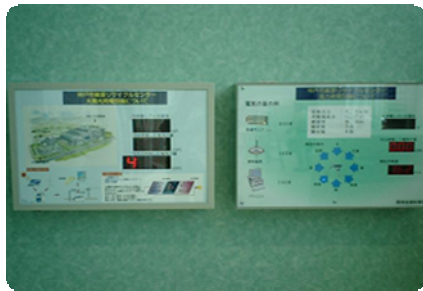
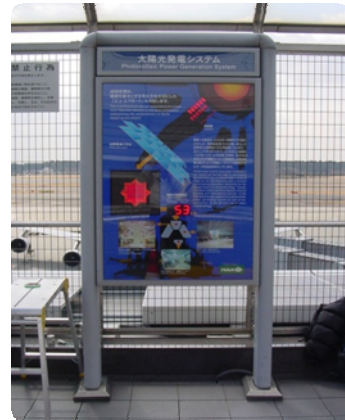


■新エネルギーの種類



太陽光発電、風力発電による発電量を表示“LED発電量表示システム”

活用事例-USE CASE-



グリーン電力基金ご利用の際に

グリーン電力基金の助成で自然エネルギー設備を設置する際には発電電力量の表示が義務づけられています。明るく見やすいLEDの数値表示で資源の有効活用をPR、学校などの環境教育に最適です。

平成20年度助成プログラムの概要

助成プログラム	事業目的	実施事業プロジェクト名	実施事業目的
プログラム種類	○主として自然エネルギーの導入を目的としたプログラム。	○自然エネルギーの普及・啓蒙を目的とする補助に該当しない補助の募集を目的としたプログラム。	○小・中・高専等の環境教育等に活用される。主として子供向け教育向けのプログラム。
実施内容	<p>とれる発電設備であること。</p> <p>◇発電状態 (kW) が確認できる表示装置を設置すること。</p>	<p>○地方公共団体の職員等 (学校長、NPOの法人等を含む)</p> <p>○「国土利用計画」に「再生可能エネルギー施設」が記載されていること。ただし、原則として申請は含まない。</p> <p>○小・中・高専等の環境教育等に活用されること。</p> <p>○発電状態 (kW) が確認できる表示装置を設置すること。</p>	<p>○申請内容 (kW) の文の、実施事業の年数は3年以内であること。</p> <p>○出力が2.5kWを超え、25kW未満であること。</p> <p>○申請内容 (1kW) の文の、実施事業の年数は3年以内であること。</p>

NEDOの補助対象に

NEDOは日本の産業技術とエネルギー・環境技術の研究開発及びその普及を推進する我が国最大規模の中核的な研究開発実施機関です。NEDOにおける太陽光発電フィールドテスト事業においても発電量表示装置が補助の対象となっています。

太陽光発電フィールドテスト事業の対象内訳

●補助対象の内訳

公募にあたって、NEDOでは標準仕様書を作成し補助対象の内訳を示している。応募者は標準仕様書を参考とし、上記4分類のいずれかに係る提案内容をNEDOに提出している。ここで補助対象の内訳は次のとおり。

- ・太陽電池モジュール
- ・太陽電池用架台
- ・接続箱(太陽電池が発電した直流電力を接続箱で集電)
- ・インバータ(太陽電池が発電した直流電力を交流電力に変換)
- ・連系保護装置(インバータ及び電力系統への異常時に連系を遮断)
- ・データ収集装置(パーソナルコンピュータ、日射計、温度計等)
- ・蓄電装置(新制御方式適用型の場合)
- ・発電電力量等表示装置(環境教育的観点等から必要な場合)
- ・工事費